

編集後記

■編集委員 (50 音順)

伊熊健一郎
北野正剛

岩崎昭憲
清水一雄

小澤壯治
徳村弘実

北島政樹
東原英二

このところ、内視鏡下手術に関連した残念な報道があらこちらで散見されております。産婦人科領域におきましても決して例外ではありません。私は腹腔鏡下手術を開始して 13 年が経過しました。その間に行った婦人科疾患に対する腹腔鏡下手術の 2,804 件に対し、合併症は 26 件 (0.93% : 2003 年 12 月 31 日の時点) ありました。一方、開院来 20 年間でを行った開腹手術では 1,505 件中の 3 件 (0.20%) でした。腹腔鏡下手術は従来法の開腹手術と比べると合併症が 5 倍という高頻度で起きております。しかし、このことは腹腔鏡下手術を 1,000 件以上経験しているような施設では同様の傾向にあるようです。手術は安全でなければなりません、起きた事態の把握と最善の対処をいかにするかが大切です。それによって何としても不幸な医療事故を回避しなければなりません。

報道のあり方にも少なからず疑問もありますが、実際に起きている医療事故の現実を目の当たりして、一般の人々に「腹腔鏡下手術は危険な手術である」との印象を持たせているのではないかと危惧しております。特に問題がなければ、この手術方法は患者にはきわめてメリットの大きな治療方法です。本当は多くの患者が腹腔鏡下手術によって従来法の手術にはなかった様々な恩恵にあずかっています。私自身も 6 年前に腹腔鏡下手術による胆嚢摘出術を実際に体験し実感しております。

そのような背景の下、日本産科婦人科内視鏡学会では昨年 2003 年 2 月に技術認定制度を発足させました。この制度は、内視鏡下手術を行おうとするすべての医師が技術認定されるだけの知識と能力を備えたうえで、より安全性の高い内視鏡下手術を患者に提供しようというのが本来の趣旨であります。つまり、車を運転する以上は必ずドライバーライセンスの修得が必要となるようなものです。当然持っていなければならない知識や技術などを再確認するもので、最終的には安全で確実な治療法を提供し普及させることが最終目的です。このような技術認定制度は、今年は日本内視鏡外科学会においてもスタートします。すでに内視鏡下手術に携わっておられる先生方が修得されることを願うとともに、新しい世代の先生方のチャレンジもお待ちしております。もちろん、呼吸器外科、小児外科、泌尿器科、整形外科などにおいても近日中の発足に向かって準備中です。

本誌特集では、各領域における内視鏡下手術のトレーニングについて掲載されております。対象となる臓器はそれぞれに異なっていますが使用する装置や器具などはほとんど同じで、手技や手法も共通したことが多いと思われます。今後は内視鏡下手術という共通点を介し、関連する各科との連携や協調を図ることで、より効率の良い風通しのよい医療形態が構築されることを願っています。

(伊熊健一郎)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 9 巻 第 3 号) 2004 年 6 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%) となります。

2004 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (税込) (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 北島政樹)

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財) 日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8622, Japan

©2004, Printed in Japan

発 売: (株) 医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 蔵田, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株) 文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意下さい。